

○ 家庭科の授業が熱い！



中学生・技術家庭科は現在、家庭分野について、中学部1・2年生が複式、3年生が単級で学び、小学部・家庭科は5・6年生が複式で学んでいます。

中学生は授業の導入で羊毛フェルトキットのぬいぐるみを作りました。好きな動物を選んで作ったところ、どれも個性があり、生徒4人の総意でブラジルスタッフ11人に好みを聞きました。B-44点、C-36点、ADE-28点という結果にみんな笑顔でした。

小学部・家族の仕事の勉強で、連休中に手伝ったことの発表で、蒼太朗さんがマングロープの水を取り替えたとの報告に、小路家・小堺家も同様に育てていることがわかりました。ジャガイモの皮むき・ほうれん草の茹で方・卵の茹で方を学び、調理の自信が少し着きました。

中学部3年生は保育の授業で、幼児期の記憶に残る樹形図を書いて、お互いに発表し、幼児期の特徴についてまとめます。この後の保育実習で活用するおもちゃ作りとおやつ作りにつなげていきます。

中学部1・2年生はいよいよ本格的な調理を学び、大根の千切り・くし形切り・半月切り、リンゴの皮むきなどを経て、主食（米のとぎ方）・汁物（白菜とねぎのみそ汁）・主菜（豚肉の生姜焼き）・副菜（春雨とワカメの中華サラダ）を作りました。豚肉の漬け込みが絶妙で、中華サラダのドレッシングはごま油の風味が豊か、完成度の高い食事ができました。おすそ回しに招待した3年生と土屋先生も満足のお昼ご飯となりました。

学期末最後の調理実習で小学生はお釜でご飯を炊き、みそ汁を作りました。あまりにお釜炊きのご飯が美味しくて、何度もおかわりをしました。中学部は保育のおやつ作りで、どら焼きと大学イモを作りました。どら焼きの生地を焼くのに苦戦しましたが、なんとか時間内にひとつ完成させました。つまみ食いの大学イモの美味しいこと！家庭科は熱い！

○ 七夕飾り 星に願いを！



小学部1～4年生の図工で七夕飾りを作りました。ジョリオンさんが裏山から切ってくれた竹を一人用のサイズに切り分け、天の川・オナリヒメ・彦星・星なきなどを折り紙で切抜き短冊を書き付けて、最後に短冊を書いて完成です。小学生はいち早く自宅へ持ち帰りたくてしょうがありません。願い事が叶いますように。

○ フレンドタイムが楽しい！



6月17日（火）、中学部主催のフレンドタイムを実施しました。今回は「しっぽ取りゲーム」とフラフープを使った「団結ゲーム」です。先生方も参加した団結ゲームで、輪になって手をつなぎ、フラフープを頭からくぐって隣の仲間につなげるもの。夢中になって頭から輪を通し、隣へバトン。楽しかった！

○ ブラジルを知ろう！



小学部3年生以上は総合的な学習の時間で「ブラジルを知ろう」という主題でグループごとに研究しています。「ブラジルと日本をつなぐ日系人」「ブラジルにおける日本の農業や農作物」「日本×ブラジルの教育」という3つのテーマで調べたことの発表を行いました。インタビューやアンケートなど実践的で素晴らしいです。

＜やっぱバスケットが好き＞

最近、休み時間に、駐車場のバスケットでハーフコートゲームが流行っています。このところの寒さから、外のひなたが暖かく、集まってきた仲間たちが2チームに分かれて対戦し、終わった時には大汗です。

中学生からバスケットを始め、大学では母校のコーチを勤めて関東大会に出場し、教師になって部活動の顧問や地域の専門委員長となり、校長になってからも、体調の悪い先生に代わって顧問代行するなどバスケット漬けでした。

リオで再びバスケットができる幸せを感じます。対戦で負けそうになると「大人げない作戦発動」とばかりに3Pシュートやシュートブロック！ケガだけは注意します。